

第 51 回 理事会議事録

特定非営利活動法人オリーブの家事務所(岡山県津山市中島 232 番地 11)

2022 年 8 月 13 日(土) 午後 13 時 30 分～理事会を開催した。

当団体の理事総数 7 名

出席理事 7 名

山本康世、浅野肇之、森内忍

國吉和美、都築真敏、服部みさと、山本礼知

出席正会員 5 名

砂子 浩、渡邊泉月、武部秀一、小西竣也、北村高史

出席正会員(オンライン) 1 名

米森 千尋

以上のとおり理事の過半数以上が出席及び欠席者からは委任状を受理したので、理事長山本康世が議長となり、開会を宣し議事に入った。

議案 当団体の活動報告及び今後の活動予定について

先月からの活動報告及び今後の課題、予算案、活動の広報について協議、検討を行った。

概要は次のとおりである。

(1)活動報告事項

○会員数、寄付金報告

・2022 年度 (8 月分)

寄付金 70件 216,644円

READYFOR 継続 7月 56件 116,000円

シンカブル 11件 43,803円

今年度累計（4-3月分）

寄付金 361件 3,544,520円 正会員個人 20口 100,000円 賛助会員 2口

○相談者数報告

・2022年度（2022年8月）

DV被害 女性 28件 男性 6件 子ども 1件

DV加害 男性 1件

貧困母子家庭 計 9件

ストーカー被害 計 1件

行政機関団体その他 計 7件

○保護人数及び保護依頼状況(2022年8月)

保護依頼 計 11件 退所 7名 継続 8名 新規 1名

保護 計 9名（同伴児童含む）（詳細は別紙参照）

(2)主な事業の課題と予算の審議事項

1. 一時保護シェルター運営について

- ・障害者就労生活支援センターからの紹介で、利用者を受け入れているが情報共有等の支援体制がなかなか組めない。生活支援員さんの情報開示が少ないため、こちらとしても支援が難しい。⇒短期利用（1週間）障害手帳あり、対象者の明確化。
- ・前回の理事会でも共有したように業務負荷軽減のため、シェルター入所者とのコミュニケーション削減を始めた。相談担当では共有しているが理事会出席者にも再度共有。

- ① 外出する際、他者とコミュニケーションを取らない場合は、LINE 連絡不要とした。
発達障害の方は、別途絵文字を含め、対応を柔軟にしている。
 - ② シェルター入所者との契約書文面をアップデートした
 - ③ シェルターが利用できる行政サービスあり
⇒リサイクルセンター（リサイクルプラザ）を活用する等
 - ④ 業務マニュアルも改善中
 - ⑤ シェルター入所・退所時のボランティアを募っていく予定
⇒新たに8月から新たに相談員が加わり、さらに業務マニュアルもアップデートされた。
- ・物件売買を検討し、ありき不動産に打診していた件で、緊急で保護する女性がいたため、いったん保留にした。しかし、8月16日頃にはその女性が退所される予定のため、再度連絡し、物件売買の話を進めていく。
 - ・周知の方法について
 - ・昨年度の状況や現在の状況を踏まえて、常にシェルターが満室で稼働している状況で現在は何とか取りこぼしなく支援ができていたが、今後、増加が予想されるためシェルターの確保に関わる情報があれば、提供して欲しいと参加理事に情報を投げかけた。
⇒岡山市のアパートメント物件の情報あり。低価格のため、既存シェルターの査定や売却が完了した際にその資金を運営資金にして、確保する事も検討する。
 - ・シェルター入居者への食糧及び生活用品等の支援
寄付によるふるさと納税返礼品での食料支援継続中
岡山 NPO センターを通じての食糧寄付
ライオンズクラブ、支援者（一般）からの食糧寄付
Amazon みんなの応援プログラムで生活用品、子ども用日用品など寄付依頼
 - ・シェルターの現状について
満室。今月、居住支援を行い2名が退所された。退所者計：7名
改修が必要なシェルターは、今後固定費をどのようにしていく必要があるのかを再度検討していく。→1人部屋の必要性。

2. カウンセリング事業課題

- ・KOTOMO 基金⇒報告動画を岡山 NPO センターさんが作成してくださり、HP や FB にて拡散している。この動画をさらに他の団体や関係機関にも発信していく予定。
- ・電話でのカウンセリング事業
電話でのカウンセリングを行うための相談員のスキルアップ勉強会開催

3. DV 被害者セーフティーネット強化パイロット事業

- (1) 今後、倉敷、県南の業務、SNS の取り組みを強化

(2) カンファレンス実施

(ア) DV 被害のマニュアル冊子を作り配布する

- ① 現状、予防・コミュニケーションに関しての情報が不十分。なので、そこを強化したようなマニュアル冊子を作成予定。
- ② 現段階は、コピーの様なもの。今後は、我々のデータも反映したもので、もっとちゃんとした感じの冊子を作成し配布したい。
- ③ 個人に向けて、色々な DV のタイプに合わせた個別の HOW TO を記載したものも考えている。→個別のプログラムとして提供。また、プログラムを体験した人には、FB をもらい、効果検証を行う。

※事務局よりパイロット事業の事業予算について説明があり、参加理事、正会員で確認（用途、項目等）を行った。パイロット事業開始前に経理より他事業としっかりと分けるためにパイロット事業専用の口座を作る提案があり、採択され、津山信用金庫で専用の口座を作っている。

4.その他

- ・ 8月1日に取材があった。OHK⇒8月22日の特集で放映して下さる予定。
⇒理事長と事務局が対応した。事業内容の概要と、長期にわたって取材に来てもらう。
- ・ インターンについて岡山県立新見大学の学生さんが2名来る予定。（NPOセンター）
⇒前回のインターンの方が卒業論文のテーマが、DVについてになった。
8月16日には指導教員とインターンの方によるオンラインインタビューがある予定。
- ・ ハローベビーさんコミュニティ事業、洋服のリサイクル事業
⇒代表の方から、子育てについての悩み等を共有してもらった。子育て支援。母親の支援ボランティアスタッフ（未来シフトのコミュニティから紹介があった）。
⇒相談員（メンタルサポート）、一人親家庭の支援。
- 8月11日に相談員のオンライン勉強会を実施した。
 - ・ セミナー（津山市青年部JC）に参加
⇒講師として、自己肯定感のセミナーを実施した。
 - ・ 8月4日尼崎で行われたJR西日本あんしん社会財団のセミナー事業の報告会に参加。
 - ・ 来月開催されるJR西日本あんしん社会財団の助成事業セミナーの確認(9月3日開催)
⇒今後のセミナーでは、2か月前から告知を出していく
 - ・ 校外学習（キッザニア）
⇒車の手配も出来て9月に行く予定、メンバーもすでに決定。
⇒6:30AMに出発予定。遠方から参加する子どもたちは事務局に前泊する。

（下記事項については全員で確認及び作業）

○奇数月に名簿のチェック

○寄付者への領収書・文章送付は、発生次第随時行う（Ready for 以外も）

○事務所での整理整頓、書類整理等の課題については、随時各担当者主体に行う

☆次回理事会開催予定☆

日 時 2022年9月10日(土) 午後13時00分～午後14時00分

場 所 津山市中央公民館 岡山県津山市大谷600

理事長、理事及び会員により弊社の今後の活動方針の協議を執り行った。事業課題と予算及び資金調達について話し合い、その承認の可否につき審議した結果、以下のとおり全員一致をもって承認可決した。

記

今後の活動予定及び方針等について、承認する。

以上をもって議事を終了したので、議長は午後15時00分に閉会を宣した。

上記の決議を明らかにするため、この議事録を作成し、議長及び本会議で選出された議事録署名人2名が以下に記名押印する。

2022年8月13日

特定非営利活動法人オリーブの家 理事会

議長 理事長 山本 康世



出席理事 服部 みさと



同 國吉 和美

